

第3学年 道徳指導略案

1. 主 題 ネットモラルの育成 2－(5)
2. 資 料 名 ケータイ・スマホ…あなたは大丈夫？(きらめき)
3. ね ら い インターネットやSNSの利用の仕方によっては、重大な人権侵害が起きていることを認識し、情報モラルやリテラシーを正しく理解し、相手を尊重し、共によりよく生きる態度を養う。
4. 人権教育の内容 人間関係の活性化 3－(2)－イ
5. 展 開

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
1. 情報教育講演会で学んだことを振り返り、インターネットの利用方法について発表する。 2. 資料の【事例1】についてペアで考え、発表する。	○ スマートホンや携帯電話を持っていなくてもインターネットを日常的にさまざまな方法で利用していることを認識させる。
もらってうれしい気持ちになったメールとはどんなメールですか。	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 誕生日のメッセージ ・ 質問してすぐ返信があったとき ・ 仲違いしたときの謝罪 ・ 励ましのメール 3. 【事例2】について班で話し合い発表。	○ メールは相手の表情が見えないことや思いやる心があれば、励ましたり、誤解を解消したり、人間関係を好転させるのに有効な手段であることを確認する。
メールやチャットのやりとりで気をつけるべきことは何だろう。	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用時間や終わり方の工夫 ・ 家族や友達とのルール作り 4. 【事例3】について考え班で発表する。	○ 一方的に思いを伝えるだけでなく、相手の都合や思いに配慮できることや、自分の意図が文字では伝わりにくいことを理解させる。
「僕」やユウタの行動について、どう思いますか。	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 根拠のないうわさや悪口など書き込むのはいけない。卑怯だ。 5. インターネットとの付き合い方を班で話し合い、ワークシートにまとめる。	○ インターネットで公開された情報は、完全に消すことが難しいことや誹謗中傷を書き込むなどは犯罪行為となることを再確認させる。 ○ 使う人の人権感覚や言葉の選び方をお互いに学び合わせる。

